

## 研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

タルク懸濁液による胸膜癒着術を受けた悪性胸水患者を対象とした胸水中バイオマーカーの有  
用性の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月～2022年5月までの間に、昭和大学病院および昭和大学江東豊洲病院に入院した患者さんのうち、悪性胸水に対してタルク懸濁液を用いた胸膜癒着術を施行された患者さん。

### 2. 研究目的・方法

胸腔ドレナージが必要な悪性胸水に対して一般的に胸水の再貯留抑制を目的として、タルク懸濁液（商品名：ユニタルク）による胸膜癒着術が行われています。しかし、タルク懸濁液による胸膜癒着後の予後や、どのような患者さんにおいて胸膜癒着術が成功しやすいかは明らかになっていません。そこで本研究では胸水中のバイオマーカーが、タルク懸濁液による胸膜癒着術後の経過を予測するのに有用であると仮説を立て、診療録をもとに後方視的に検討します。

本研究は学術研究であり、患者さんのデータを利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、研究機関の長の研究実施許可を得てから2023年3月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

血液検査（血算、凝固、生化学、血液ガス分析、胸水生化学、胸水性状、胸水細胞診、胸水組織診、胸水血算、胸水培養）、胸部単純X線、胸部CT、バイタルサイン、患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、現病歴、使用薬剤、喫煙歴）

**4. 外部への試料・情報の提供**

個人情報保護のため、取得した診療情報は個人情報管理責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化し、対応表を作成します。得られた診療情報、対応表および解析結果は各施設内の外部から切り離されたコンピューター内に保存します。また、個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化した情報は、昭和大学江東豊洲病院呼吸器・アレルギー内科から昭和大学病院呼吸器・アレルギー内科へ送付されます。その際も個人情報保護に配慮したうえで行われます。

**5. 研究組織**

昭和大学江東豊洲病院 呼吸器・アレルギー内科  
昭和大学病院 呼吸器・アレルギー内科

**6. お問い合わせ先**

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 呼吸器・アレルギー内科 氏名：福田陽佑  
住所：東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000 (IP 6207)

研究責任者：

三國肇子（昭和大学病院 呼吸器・アレルギー内科）

研究代表者・研究責任者：

福田陽佑（昭和大学江東豊洲病院 呼吸器・アレルギー内科）